

広報

かみごおり

さわやかに歴史と未来の出逢うまち

6月号

1995. No.314
(平成7年6月16日発行)

発行・編集／上郡町役場・広報委員会 ☎2-1111



ヤッホーみんな元気だよ～

高田幼稚園児が手作り鯉のぼりで大はしゃぎ

5月5日は端午の節句。男子の成長を祝う日として昔から鯉のぼりがつきものです。

高田幼稚園でも、47人の4歳児がお遊戯のひとつとして、自分たちの鯉のぼり作りに挑戦。慣れない手つきで色紙を切って、色画用紙で作った鯉の胴体に思い思いの色を貼りつけ、10日余りで完成させました。

園児たちは、さっそく出来上がった鯉のぼりを手に園庭をかけまわり、五月晴れの下で元気にはしゃぎまわりました。

★主な内容

- 播磨科学公園都市概要紹介 …… 2～3
- 6月は「豊かな村を災害から守る月間」… 4
- 保健センターリハビリ教室より …… 5
- まちの話題 …… 6～9
- お知らせ …… 10～13
- 歴史散歩 …… 14

★人口のうごき(5月末現在、()内は前月比)

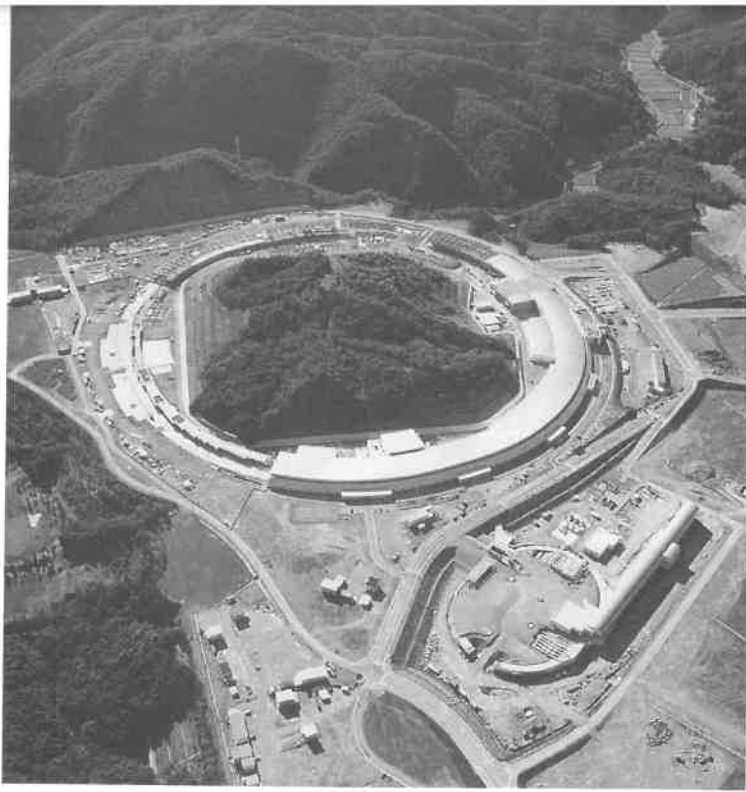
- 人口 19,413人(+11)
男9,300人 女10,113人
- 世帯数 5,857世帯(+5)

着々と整備される播磨科学公園都市

昭和六十一年十月、新都市の建設起工式が行われて約九年が経過しました。国際的な科学都市の建設に、夢と希望のまなざしで見続けてきた新都市も、その概要が整いつつあります。

第一工区の造成もほぼ完成し、その間、道路や下水などの基盤整備をはじめ、各教育施設、研究施設、住宅施設、生活利便施設など着々と都市景観が整ってきました。

昨年、十二月には金出地バイパスが開通し、新都市への通行も安全で便利になるとともに、住民の交流も進展してきました。このたびは、新都市の概要を紹介します。「新上郡町」を身近に感じてみてはいかがでしょうか。



① 大型放射光施設「SPring-8」

電子を加速して放射光を取り出し、さまざまな実験を行う世界最大級の光の研究所。全世界の研究者が広く利用できる施設として、日本原子力研究所と理化学研究所が共同で建設を進め、平成9年度一部供用開始、平成10年度完成予定。

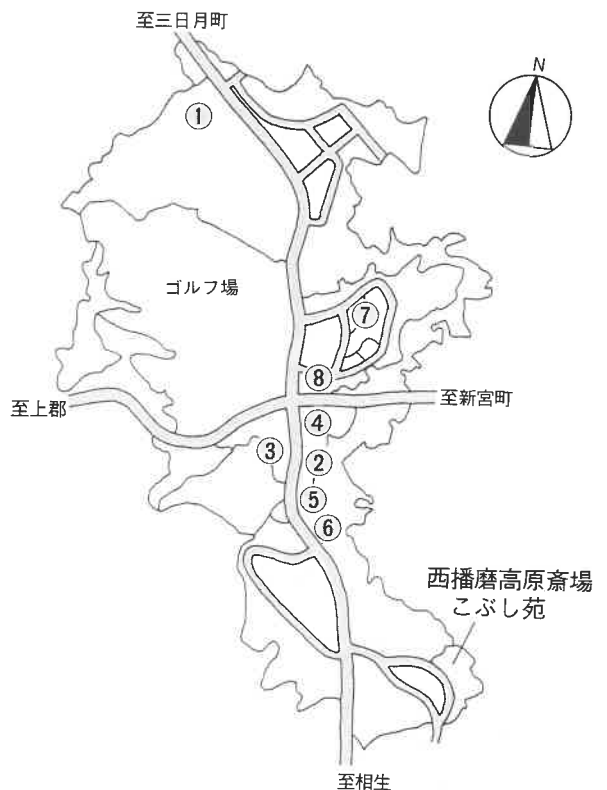
原子レベルの世界の解明を可能にし、医学・生物科学など、さまざまな分野で無限の可能性を秘めた放射光に期待が集まっている。



② 姫路工業大学理学部

平成2年度に開設し、新都市では平成3年度から2回生以上の専門課程の学生が学び、現在、教職員も含めて817名のキャンパスとなっている。

また、新しい構想による学科編成に基づき、物質科学科・生命科学科の2学科を設置するとともに、平成6年度からは大学院修士課程を設置し、大型放射光施設と連携した研究を担う理学部をめざしている。





④ 先端科学技術支援センター

平成5年4月に第1期施設がオープン。各分野の研究者や技術者の研究情報交流・科学技術への情報検索機能等を担う。また、短期滞在者用のゲストハウス(約40ベット)を併せ持つ。



⑥ 西播磨コンピュータ・カレッジ

情報処理関連技能者養成施設として、平成3年度に開校し、プログラマー、システムエンジニアを養成する。

訓練期間は2年で、第2種情報処理技術者レベル以上を目標とし、平成7年3月には第3回の卒業生103名が巣立っている。



オプトハイツ



独立住宅

③ 播磨へりポート
平成元年11月に誰でも利用できる公共へりポートとして開港。平成6年5月より神戸〜西播磨間の運行が開始されている。



⑤ 姫路工業大学附属高等学校

高校・大学の一貫教育を目指し、姫路工業大学との連携プログラム等を取り入れた特色のある高校として、平成6年4月に開校した。

総合科学科を設置し、学術研究の後継者や国際感覚豊かな創造性あふれる人材の育成を目指している。

県下から集まった生徒たちは、一部寮生活。上郡町からも現在26名が就学している。

⑦ 播磨高原東小学校

平成7年4月に開校し、新宮町と上郡町で組織する事務組合が運営を行っている。通学区域は新都市内と新宮町の一部で、現在1〜6年生までの26名の児童が学んでいる。



⑧ 住宅ゾーン

現在上郡町域内では、姫路工業大学教職員住宅(20戸)、オプトハイツ(40戸)の供給に引き続き、高層住宅(99戸)が本年12月に入居開始の予定。新宮町域でも、ゆとりのある空間を確保した独立住宅(22戸・1戸約4,000万円)が分譲中です。今後都市の発展に併せて住空間が整備され、第1工区では1,800戸が予定されている。